

九州女子大学  
家政学部 人間生活学科

令和3年度 社会人選抜I期  
編入学選抜I期  
社会人編入学選抜I期

小論文

九州女子大学 家政学部 人間生活学科

社会人選抜Ⅰ期

令和三年度 編入学選抜Ⅰ期

社会人編入学選抜Ⅰ期 小論文 試験問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「男子はすべからく女子に国政を（ア）委ねるべきだ」。時は古代ギリシヤ。劇作家アリストパネスの喜劇「女の議会」で主人公が熱弁を振るう。参政権を持たない女性たちが男装して議会に潜入し、男性から実権を奪い取るという筋立てだ。

民主主義の源流とされる都市国家のアテナイだが、女性の地位は低かったとされる。「政治も文化もあくまでも男性市民中心に築かれていた」（桜井万里子著「古代ギリシアの女たち」）。

ギリシヤ同様、いにしえからの歴史を刻むローマでも、最近まで、女性の進出を（A）ハバム「ガラスの天井」は厚かった。ビルジニア・ラッジさんが初の女性市長になったのは3年前。胸に（イ）去来するのは「女性には、他者を気にかけて、問題に向き合う能力があるのに」との思いだ。

日本はどうか。世界各国議会の国際組織・列国議会同盟によると、下院議員に占める女性の割合は193カ国平均で4人に1人。10人に1人しか女性衆院議員のいない日本は165位。主要20カ国・地域（G20）で最下位だ。

「女性が輝く社会の実現に向け、女性教育に投資を」。ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイさんは今週末に大阪で首脳会議を開くG20に呼びかけている。

性別にかかわらずなく能力を（B）ハツキできる社会を目指す「男女共同参画社会基本法」の施行から20周年。G20首脳会議では、女性の活躍を後押しする関連会合も予定されている。一過性の行事に終わらせず、「ガラスの天井」を打ち砕く機運を高めるきっかけにしたい。

「余録」『毎日新聞』（二〇一九年六月二四日付け朝刊）

問一 傍線部（A）（B）のカタカナを漢字に直しなさい。また、傍線部（ア）（イ）の漢字の読みを書きなさい。

問二 「ガラスの天井」のガラスとは何のたとえなのか解答欄に書きなさい（六字以内）。

問三 文章をふまえて、あなたの「女性が社会で活躍する」ことへの気付きについて述べなさい。ただし、句読点を一字に数える（四〇〇～五〇〇字）。



